

# 「水辺の小さな自然再生」事例紹介

記入年月 2018年10月

都道府県名	滋賀県		河川名	吉川川						
事例タイトル	高校生が地域と取組むホタルの自生環境づくり									
写真										
水系名/河川名	淀川水系 吉川川 (普通河川)		場所	滋賀県守山市勝部						
位置情報 (緯度経度)	35.053243, 135.991701		活動開始年	2016年						
活動概要 (経緯・目的等)	<p>滋賀県守山市はホタルの名所として知られており、ホタルパークアンドウォークなど、長年にわたりホタルを活かしたまちづくりを進めてきた。しかし、近年は周辺の開発、水路の改修などで自生できるホタルの数は減少し、イベント時のホタルの多くは養殖されたものとなっている。</p> <p>そこで、滋賀県立守山高校のSGH (スーパーグローバルハイスクール) の地域課題として、守山市の中心市街地 (あまが池プラザ・吉川川) でホタルの自生環境を取り戻す試みを始めた。あまが池プラザの指定管理者でまちづくり会社の「みらいもりやま21」の支援をはじめ、関連NPOや専門家の助言を得ながら、生徒たちが考え・実践を続けている。2018年度からはSSH (スーパーサイエンスハイスクール) のプログラムにも位置付けられ活動は益々活発化している。</p>									
再生の手法	簡易魚道		簡易水制 (巨石・ブロック)	○	バープ工 (上向き水制)	○	石倉かご・竹蛇籠		植生ロール・ポット	○
	魚道改良		たまり・わんど造成	○	河床攪乱	○	その他 (記述)			
実施体制 (活動の担い手)	市民・市民団体	○	河川管理者 (国)		河川管理者 (都道府県)		河川管理者 (市町村)	○	河川管理者以外の地元自治体	○
	大学・研究機関	○	学校 (小中高)	○	企業	○	その他 (記述)			
工夫した点	<p>ホタルの幼虫が蛹になれるよう、護岸付近の締め固まった土の一部をフカフカの状態で耕した。また、土のない箇所にはプランターに土を入れ、幼虫が護岸づたいに登れるように網戸ネットを張ってゆるやかなスロープをつくった。幼虫がプランターに登っていく様子は確認された。</p> <p>川底が細かい泥が溜まり攪乱が起こりづらい状況になっているため、子どもたちを川で遊ばせることで攪乱することを狙い、小学生向けの川あそびイベントを企画し、実施した。</p> <p>さらに流れの多様性を取り戻そうと、簡易水制・バープ工の設置を試みている。現地測量も河床変動解析を行い水工学的な検討アプローチをとっている。</p>									
今後の課題	対象箇所でのホタルの自生は未だ確認されておらず、今後もさまざま手段を講じて生息・生育環境の回復を目指す必要がある。									
効果 (直接的な効果・間接的な効果)	<p>高校生たちが小さな自然再生に取り組んだ箇所で、ホタルの飛翔が見られたが自生が確認されたわけではない。小学生を対象としたイベントはこれまで2回実施し好評で恒例化しつつある。あまが池の目の前が小学校なので、ホタル保護に対する小学校の理解も進んだ。</p> <p>高校生たちの地道な取り組みに市役所・老舗NPOの方々、専門家の協力がどんどんパワーアップし、活動が充実してきている。</p>									
関連URL等	<a href="http://www.moriyama-h.shiga-ec.ed.jp/contents/sgh/study/">http://www.moriyama-h.shiga-ec.ed.jp/contents/sgh/study/</a>									